



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和4年12月22日号 文責:校長

◇2学期の終業式にあたって◇

今年の冬は12月になっても暖かい日が続き過ぎやすいと思っていましたが、今週は大雪となり本格的な冬の到来を感じる季節となりました。そのような中、85日間の2学期も終わり、今日こうして終業式を迎えることができます。

2学期は、「絆節」、「学び節」とそれぞれの節に皆さん一人一人が具体的な目標を掲げ、大きな成果を上げる学期となりました。2学期を振り返ると9月には町内の小学校の先生や大学の先生を招いて公開授業研究発表会を実施しました。大学の先生からは、皆さんの授業に真剣に取り組む姿や、休み時間も落ち着いて生活する様子から、もっと難しい課題に挑戦できる力を持っている、ぜひ皆さんに様々なことに挑戦させてほしいというアドバイスをいただきました。昨年から使い始めたタブレットは、皆さんの学習の可能性を大きく広げました。ぜひ、これからも学習用具の一つとして家庭学習などで効果的に利用してほしいと思います。短い準備期間にもかかわらず紅白両軍とも見事な応援合戦を披露した紅白の陣、各クラスで熱のこもった練習を繰り返し素晴らしい合唱を作り上げた合唱の陣、2つの行事とも3年生がリーダーとなり下級生へ模範を示しました。また、1・2年生の力を示した新人大会など様々な活動の様子が浮かんできます。「幸築」をスローガンに活動した生徒会も前期生徒会から後期生徒会にバトンタッチされ活動が続いています。皆さんが目指す理想の学校作りをさらに継続してほしいと思います。生徒会だけでなく部活動など多くの活動が2年生・1年生に引き継がれました。2年生・1年生を中心にさらなる活躍を期待します。体育館左側にある学校教育目標「いのちを大切に 絆を深め 学び続ける生徒」この目標に皆さんが確実に近づいていると感じました。

2学期前半の「絆」節では、紅白の陣、合唱の陣などの学校行事を通して学校全体の縦の絆を深めることができました。また、3年生の修学旅行、2年生のわっくWORK、1年生の校外学習などでは、普段、校内の授業ではできない体験を通して学年の横のつながりを深めました。縦の絆と横の絆を深めることで学校全体が一つの目標に向かって進む団結力がつきます。この力で3年生は中学校卒業に向けて、1・2年生は上級学年への進級という目標に向かってほしいと思います。

2学期後半は学び節でした「人はなぜ学ぶのか」全校生徒で話し合いました。私からは、安達峰一郎博士の「学問は小さな成功に満足せず大きな夢を成し遂げるまでしなさい」という言葉を紹介しました。

立派な大人になり社会のために尽くそうという博士の決意がうかがえる言葉です。皆さんが大人になり活躍する時代は自然災害や世界情勢の大きな変化により数年先が予測できない時代と言われていました。そのような時代を生き抜かなければならない皆さんには、自分から進んで学ぶ力、仲間と協力して学ぶ力、学び続ける力が大切になります。先ほど話した大学の先生のアドバイスのように皆さんには無限の可能性があります。なぜ学ぶのか、自分の将来の夢をもう一度確認して勉強に打ち込んでください。

最後に、3年生の皆さん、皆さんにとっては、大切な年末年始になります。一日一日を大切に過ごしましょう。頑張った分だけ必ず皆さんの力になります。学校全体で皆さんを応援しています。1・2年生の皆さんも今年1年を振り返り、新年の目標を立てて3学期から新たなスタートを切れるように、その準備をしてください。休み中も規則正しい生活を心がけ、事故などあわないように命を大切にしてください。

(12/22終業式 校長講話)

1・2年生から思いを込めて ☆3年生激励会☆

12月21日(水)の朝、生徒会執行部が中心となり、これから本格的に受験を迎える3年生に「頑張ってください!」という1・2年生の応援の気持ちを込めた『3年生激励会』が行われました。

今回の激励会は一室に会することを避けて、各教室でリモートで行いました。3年生の学級代表が、スクエアで1・2年生の代表からメッセージを受け取り、エールは団長・副団長のリードで各教室から拍手で応援の気持ちを届けました。

早い人では、年明け早々の受験が始まります。全校をあげて3年生の進路決定を応援しましょう。



2023(令和5)年は 卯年



卯年は、芽を出した植物が成長して茎や葉が大きくなる時期で、その成長が目に見えて著しく表れる年だといわれています。また、うさぎは勢いよく跳びはねることから、飛躍する年といわれています。また、たくさんの子を産み成長も早いことから繁栄のシンボルになっているそうです。(諸説あり)

山辺中学校のみなさんにとっても、これまでこつこつと頑張ってきたことが勢いよく花開くことを期待したいものです。また、節目に気持ちを切り替えて努力していくことで、よい成果を実らせる…そんな1年のスタートを気持ちよく迎えましょう。